

葛飾あらかわ水辺公園

再整備事業 通信 第1号

令和4年12月 発行

日頃から、葛飾区の公園事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、葛飾あらかわ水辺公園では、多くの方々に利用してもらえるような公園とするために、令和3年6月に公園再整備基本構想を策定し、課題や整備方針などをまとめました。

今年度は基本計画の策定に向けて、ワークショップを3回開催し、この公園で「やってみたいこと」のアイデアを参加者の皆さんとともに考えていきます。

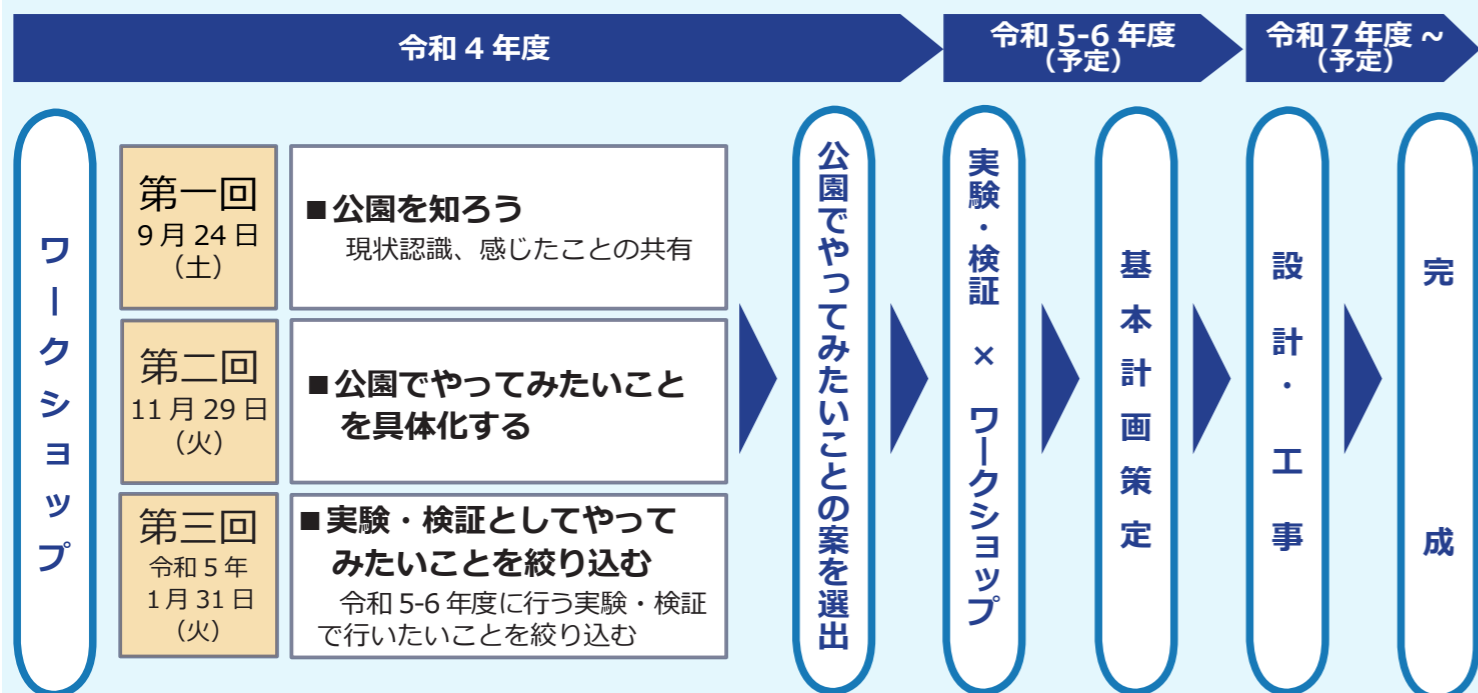
ワークショップの主旨

～ みんなでみつけて、みらいをつくる ～

葛飾あらかわ水辺公園では、「魅力的な施設」と「身近な自然環境」とを備え、多くの区民の皆さんが利用したくなる公園を目指しています。どのような公園であれば実現できるのか、すぐに内容を決めるのではなく、ワークショップや実験・検証を経て、作りあげていく予定です。



再整備事業のスケジュール



【第一回ワークショップ】公園を歩いて現地を見学しました

■開催概要：

- ・日時：令和4年9月24日(土曜日) 10:00~12:00
- ・場所：葛飾あらかわ水辺公園
- ・参加人数：32人(ワークショップメンバー)

第一回ワークショップでは、悪天候のため一部視察箇所を縮小して、参加者全員で公園内を歩きました。平井大橋横の広場やスカイツリー、園内の池や水路などを見ながら、公園の現状を体感し、「この公園でやってみたいこと」のイメージを膨らませました。現地を回った後、感想を話し合い、葛飾あらかわ水辺公園の「課題」、「魅力」、「やってみたいこと」についてアンケートを記入してもらいました。



■アンケートで出た主な意見

- | | | |
|--|--|---|
| 1. 葛飾あらかわ水辺公園の「課題」は何ですか？
<ul style="list-style-type: none"> ・管理が不十分、公園へのアクセスが良くない ・ゴミが堆積している ・遊具、ベンチなどの施設が整備されていない ・草に覆われている ・園路、通路の整備必要 など | 2. 葛飾あらかわ水辺公園の「魅力」は何ですか？
<ul style="list-style-type: none"> ・広々としている ・スカイツリー、電車、夜景などの景観が良い ・都心に近くアクセスが良い など | 3. 葛飾あらかわ水辺公園で「やってみたいこと」は何ですか？
<ul style="list-style-type: none"> ・自然とのふれあい ・BBQ、キャンプ、グランピング、ドッグラン、舞台などの集客施設 ・映画会、フリーマーケットなどのイベントの開催 ・スケートボード、ジョギングなどのスポーツ施設 ・子供が思い切り遊べる場 など |
|--|--|---|

【第二回ワークショップ】やってみたいことを具体化しました

第二回ワークショップの詳細は次ページをご覧ください。

おわりに

葛飾あらかわ水辺公園の素晴らしいロケーションを活かし、多くの方々に使っていただける公園となるよう、地域に関わる皆さんと一緒にチャレンジしていきます！

とある日の夕方の公園からの眺めです →



この通信は、葛飾区のホームページにも掲載しています。

葛飾区公式サイトトップページ▷くらしのガイド▷住まい▷くらし▷公園▷葛飾あらかわ水辺公園再整備事業 通信第1号 (アドレス: <http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000059/1003408/1030603.html>)



葛飾区都市整備部公園課建設係
担当 大石・小湊・清藤・中島
連絡先 03-3695-8385



【第二回ワークショップ】の概要

■開催概要：

- ・日時：令和4年11月29日（火曜日）19：00～20：30
- ・場所：新小岩地区センター 4階ホール
- ・参加人数：24人（ワークショップメンバー）

第二回ワークショップでは、グループに分かれて「公園でやりたいこと」のアイデアを出し合いました。

【第二回ワークショップ】の流れ

開会

1. ワークショップの目的と前回ワークショップの振り返り

第一回で行ったアンケートの結果を共有しました。

2. グリーンインフラの専門家によるお話

グループワークの話し合いの参考とするため、国立環境研究所の西廣淳先生より、関連する事例の紹介や、公園で過ごすことの意義や効用、葛飾あらかわ水辺公園の土地の歴史などについてお話をいただきました。（Web参加いただきました）

3. グループワーク

AからDの4グループに分かれて、葛飾あらかわ水辺公園で「やってみたいこと」のアイデアを出し合いました。アイデアを出し合った後、話し合った内容をグループの代表者が発表し、参加者全員で共有しました。

4. 多様決（たようけつ）

自身が最も「やってみたい」と思うアイデアに赤シール、「気になる」アイデアに青シールを貼る「多様決」(*)を実施して、解散となりました。

(*) 多様決とは、多数決とは異なり、多くの方が「やってみたい」と思うアイデアだけではなく、「気になる」アイデアについても焦点を当てることによって、王道ではないけれども、「きらりと光る」アイデアを拾い上げる合意形成の手法の一つです。

第二回ワークショップで出たアイデア

A～Dの各グループから、以下に示すようなアイデアが出されました。それぞれのアイデアは、4つの属性を表す色の付箋紙に記入して、そのアイデアを行いたい場所に貼っています。

[付箋紙の凡例：■ = アクティビティ、■ = 自然体験・学習、■ = 自然保護、■ = その他]

[多様決の凡例：● = やってみたいこと、● = 気になること]



■ワークショップの様子：



第三回ワークショップでは、第二回で出たアイデアをさらに検討していきます。